

(様式6-3)

研修等 報告書

令和6年2月13日

三田市議会議長 森本 政直 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	
		議員名	檜田 充
参加者氏名	檜田 充		
講演会等研修名	地方議員研究会		
研修事項	・自治体病院の基礎と課題 ・病院経営質問虎の巻		
日 時	令和6年2月7日(水)～令和6年2月7日(水)		
場 所	大阪市北区梅田1-11-4 リファレンス大阪駅前第4ビル		
所 見	講師：城西大学経営学部 伊関友伸教授 《自治体病院の基礎と課題》 《病院経営質問虎の巻》 別紙参照		
添付資料	・配布資料抜粋(写) ・ ・ ・		

6 添付書類(講演会内容のパンフレット等)

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、参加者氏名は不要)

所見

《自治体病院の基礎と課題》

- ・自治体病院の多くが中小規模自治体に立地 65.3%は人口10万人以下の自治体
- ・自治体病院は新型コロナウイルスにおいて積極的に患者を受け入れた⇒必要性は国民に理解された
- ・自治体病院の財務状況は⇒繰入金は全体で約8,000億円超、ただ一定額は交付税措置がされている。
- ・自治体病院の評価軸⇒一定の質の医療が提供されているか、持続可能性が最も重要な課題
- ・2022年3月29日「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインについて」を通知
経営強化の基本的な考え方①限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用する
経営強化の基本的な考え方②中核的医療を行う基幹病院に急性期機能をを集約すること
- ・一般会計からの繰出は認められている。総務省は一般会計繰入金を入れた後の経常収支での黒字を重視している
- ・病院統合再編の必要性⇒新型コロナウイルスの患者を受け入れたのは400～500床の病院が中心。感染症専門医の数や医師の集約化のメリットを考えると、統合再編して機能向上を
- ・病院の建替えの必要性⇒感染症に対して十分対応できない。個室化・陰圧対応・感染症外来設置や動線についての考慮
- ・病院機能の再編⇒医師が集まり、1人あたりの負担も軽減。専門医資格が取れる医療機関に
- ・国の財政的支援①総務省の公立病院の機能分化・連携強化に伴う整備（特別分）に病院事業債（特別分）による元利償還金の40%の交付税措置
- ・国の財政的支援②厚生労働省の「地域医療介護総合確保基金」の支援（病床機能再編支援事業）

🔗🔗再編・統合しか市民の医療を守ることはできない！

所見

〈病院経営質問虎の巻〉

- ・当該病院の財務・経営データをどのように入手するのか⇒総務省が発行する「地方公営企業年鑑」により、地方公営企業法が適応される全ての自治体病院、地方独立行政法人の財務・経営データが公開されている
- ・「地方公営企業年鑑」の意義⇒全国の自治体病院と比較できる。過去のデータもあり、推移を把握できる。財務指標だけでなく経営指標も公開されている。
- ・「地方公営企業年鑑」の内容
 - ① 施設及び業務概況に関する調書
 - ② 損益計算書
 - ③ 貸借対照表及び財務分析
 - ④ 資本収支に関する調書
 - ⑤ 費用構成表（比率）及び医業収益に対する費用比率
 - ⑥ 経営分析に関する調書
 - ⑦ 職種別給与に関する調書
- ・病院の建替え⇒財務状況や将来の経営環境を考え建替えに躊躇
- ・ローコストを意識しながら、個室化、陰圧対応、感染症外来設置、動線の考慮など感染症に対応した病院とすべき
- ・地域の医療の「砦」である、地方の病院こそピカピカの病院であるべき
- ・財務分析は「貸借対照表」と「損益計算書」を読みこなせることが基本
- 「貸借対照表」とは、一定の時点（年度末の3月31日現在）での資産や負債の状況を表す。資金がどのように調達され、運用されているかを表している
- ・収益状況の推移は医業収支比率で見る
- ・最も重要な現金・預金⇒手持ち現金がなければ安定的な経営はできない
- ・負債の部で最も注意すべきは「一時借入金」があるか⇒手持ち現金が枯渇すると一時借入金に頼る経営に追い込まれる
- ・経営に関する指標⇒「病床利用率」「平均在院日数」「1日平均入院・外来患者」「1日1人平均入院単価」「入院外来患者の増加策」等

👉👉👉今進めている方向で間違いない！